

## 第1回「プラットフォームの在り方についての協議会」議事要旨(案)

### 1. 日時

平成18年11月06日(月)10時～12時

### 2. 場所

霞ヶ関東京會館ゴールドスタールーム

### 3. 出席者(五十音順、敬称略)

有坂和明、石川俊之、石上嘉昭、石橋健司、伊藤明、牛山修一郎、内田康幸、岡本光正、  
箆島専、音好宏、佐々木学、佐野順三、鈴木理志、鈴木正市、鈴木達夫(代理:金田太  
郎)、須田真司、簾内重和、田中久也(代理:平井陽一郎)、鳥居昭夫、林尚樹、平井隆昭

事務局:木田由紀夫、高橋淳二、平本善一、藤島克之

### 4. 議事内容

- (1)開会挨拶
- (2)構成員等の紹介
- (3)開催要項並びに協議会の目的
- (4)座長の選任(座長は鳥居昭夫氏が選任された)
- (5)座長代理の指名(座長代理は音好宏氏が指名された)
- (6)協議会の公開について
- (7)協議会の進め方について
- (8)幹事会の設置について
- (9)意見陳述
- (10)閉会

### 5. 主な議論

事務局より配付資料について説明がなされた後、当協議会ではプラットフォームの規律  
の在り方を検討し、現存する「衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライ  
ン」(平成15年7月1日スカパー！制定)の見直しを図り、プラットフォームに勧告をする、  
ということが確認された。

#### <意見陳述>

- (1)プラットフォームの規律のあり方

- ・ プラットフォームと放送事業者が互いに協力できるシステムやルールを作ることが必要である。
- ・ プラットフォームの規律の在り方については透明性、公正性、中立性を担保する規律が必要。
- ・ プラットフォームの業務範囲の見直し、明確化が必要。
- ・ 国内外、他業界の事例研究をするべきである。
- ・ プレミアムチャンネルとベーシックチャンネルの顧客管理手数料の不公平を是正すべきである。

(2)「衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン」の見直し

- ・ より発展できるような衛星放送サービスの在り方のガイドラインを作る必要がある。
- ・ ガイドラインの運用面での第三者機関(受け皿機関)を活用すべきである。
- ・ 現在の年に2回の活動報告の回数を4回に増加することによって情報鮮度を上げる必要がある。
- ・ 標準内、標準外サービスの規定の見直しが必要。

(3)スカパー！とJSATの経営統合について

- ・ スカパー！とJSATが統合することでプラットフォーム事業が公平性、透明性を求められることは当然である。
- ・ 統合は普及拡大を目的としたもので、そのためには事業構造の改革が必要と考えた
- ・ 衛星事業、プラットフォーム事業、CS放送事業、有線放送事業を兼営することとなることから、これまで以上に公正性・中立性、透明性の確保に向け、自ら積極的に取り組みたいと認識している。

以上